

令和4年度 保健師等ブロック別研修会（関東甲信越ブロック）

改めて振り返る保健師活動

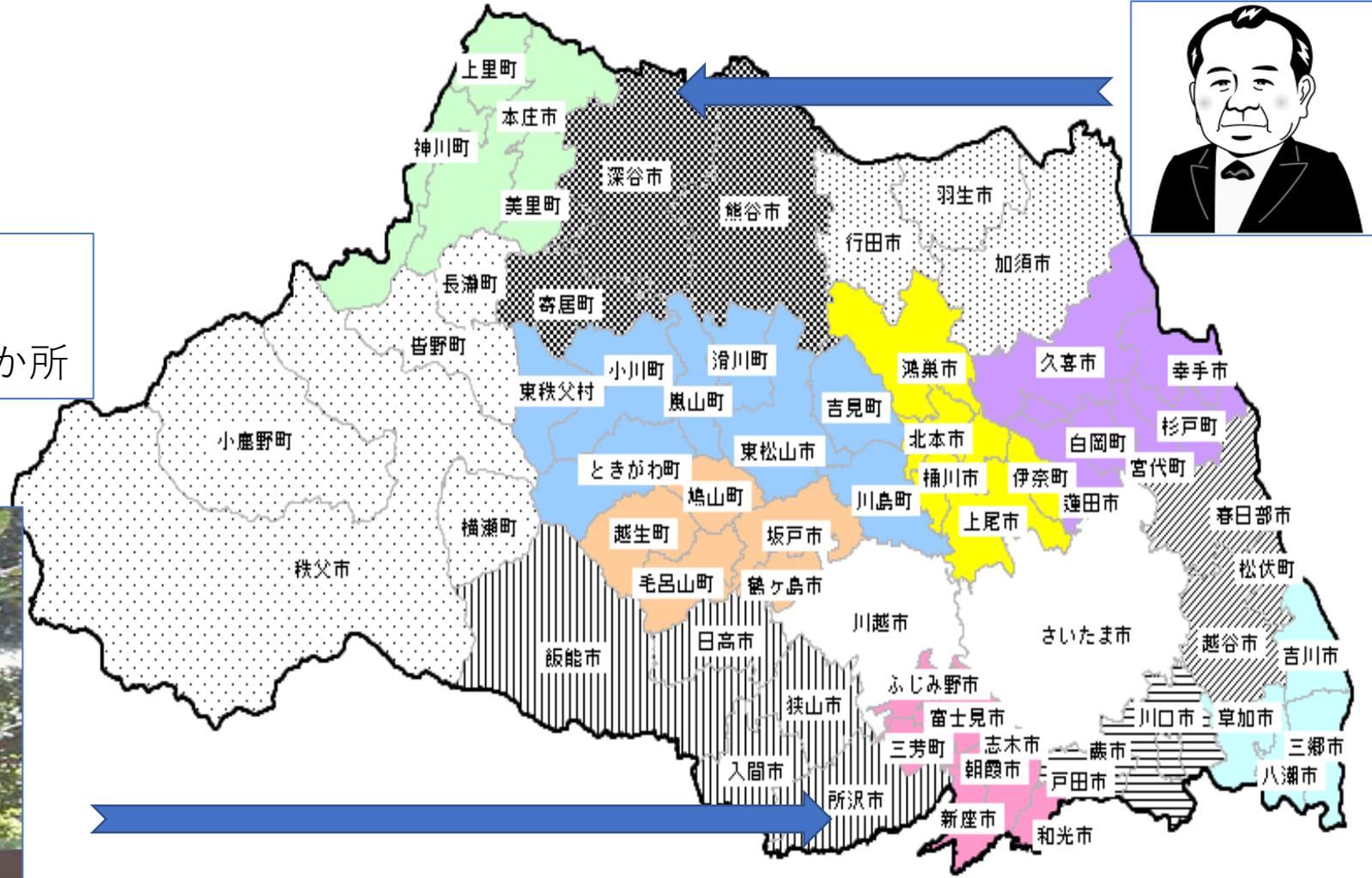
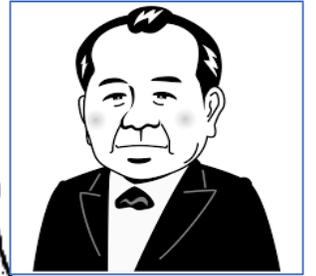
～次世代への期待～

埼玉県 鈴木 洋子



埼玉県の概要

人口 約734万人
63市町村
県型保健所13か所 市型保健所4か所

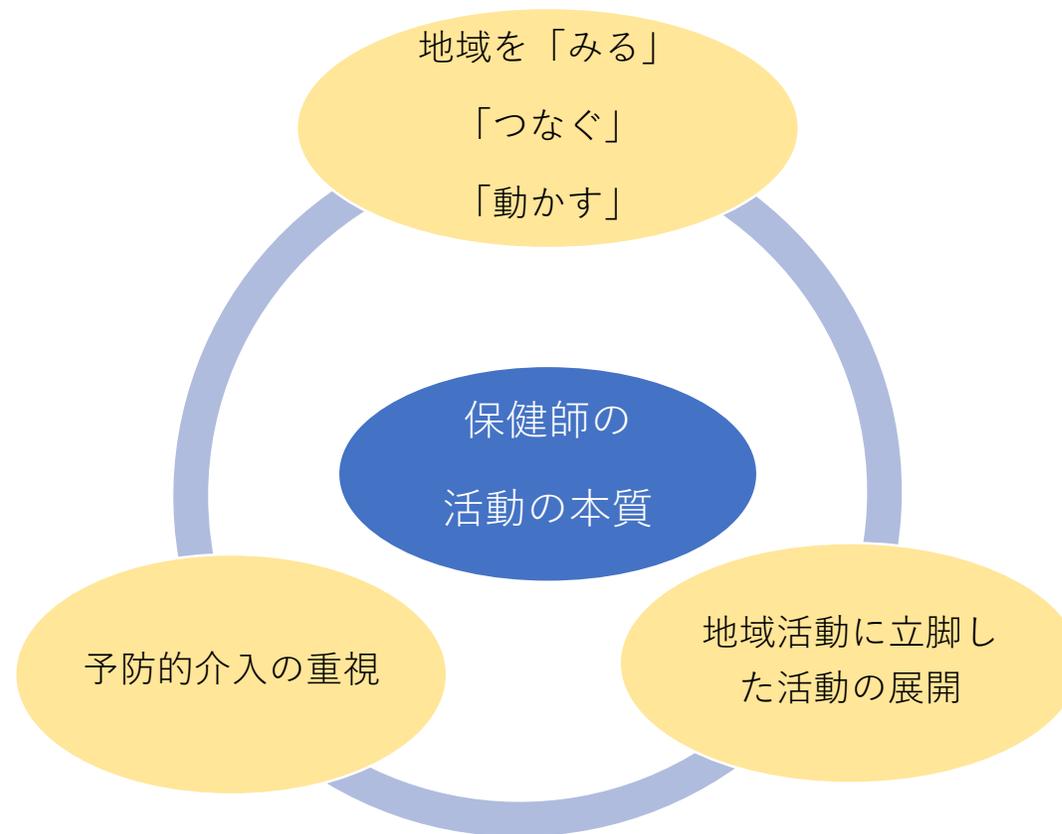


保健師の保健活動の方向性

「平成25年4月改訂「地域における保健師の保健活動に関する指針」

地域における保健師の活動の本質

保健師は、公衆衛生看護学を基盤とし、ヘルスプロモーションの理念に基づいて、住民及び地域を継続的かつ多面的に捉えるとともに、住民の生活と健康との関連を考察し、予防活動も含めた地域保健活動を展開することが求められる職種であり、住民の健康寿命の延伸やQOLの向上を図るうえで重要な役割を担っている。



保健師を取り巻く環境は・・・

- 超少子高齢社会、2040年問題
- 疾病構造の変化
- 家族のあり方の変化
- 貧困・経済格差、健康格差の拡大
- 医療費・介護給付日数の増加
- 大規模自然災害の発生
- 新興・再興感染症の発生 等々



保健師として・・・



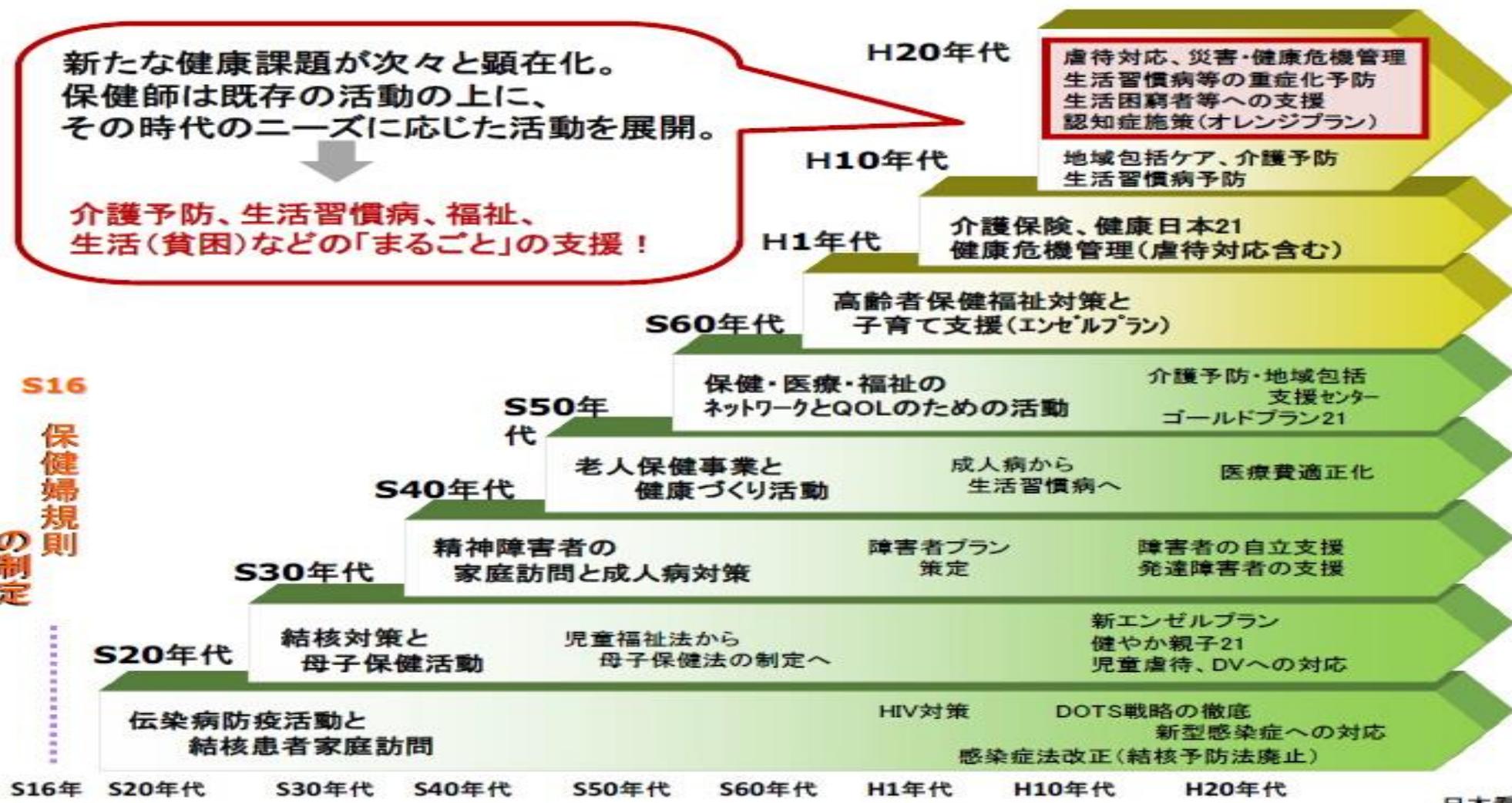
保健師活動の変遷 健康課題は積み重なっている→地域で包括的なケア体制の構築は必須

新たな健康課題が次々と顕在化。
保健師は既存の活動の上に、
その時代のニーズに応じた活動を展開。

↓

介護予防、生活習慣病、福祉、
生活(貧困)などの「まるごと」の支援！

S16
保健婦規則
の制定



住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けることができるよう

地区担当制の推進

保健活動の対象は、地域で暮らす全ての人々

予防の視点をもったかかわり



保健師活動の目的

個人あるいは集団の健康課題へ対応する能力を向上させ、
ひいては地域全体の健康水準を向上させること

目的を実現するためには・・・
地域で暮らす住民の生活全体をとらえること
つまり、個別の支援が基本！！！！



保健師の専門性

【保健師のベストプラクティスの明確化とその推進方策に関する検討会報告書 平成20年3月】

一部抜粋

<個別的な関係づくり> → → → → <支援チーム・仲間・システムづくり>

保健師活動のコアとして

- (1) 生活、人、環境を捉え、あるべき姿に向かって主体性を尊重できる姿勢
- (2) 個別援助が原点、個から家族、環境を整える総合的な視点
- (3) 主体的に解決することへの支援 → 指示でなく 支持的なかかわり
- (4) 地域責任性：保健師の立ち位置
- (5) ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの連動

公衆衛生看護の使命

～保健師にとって地区活動

(地区活動→保健師活動の使命を果たす最適な手法) ～

一人ひとりの住民を‘この地区の生活者’として理解し、そこから地域共通の健康問題を見出す。その課題を地域共通の伝統・文化、地域ルールから乖離せず、住民とパートナーシップ・協働に価値をおきながら解決していく道筋を模索する。

これが公衆衛生看護活動の姿であり、公衆衛生看護活動の担い手である保健師が、地域に対するこだわりを持ち続ける意味である。

保健師は、地区活動という地区に入り込む手法でこの活動を守り続けた専門家である。

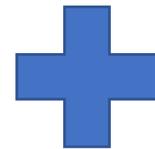
地域住民とのかかわり

いろいろなケースとの出会いから・
大事にしなくてはいけないこと

多角的にみる視点
否定から見ないでありのままを受容
個人を尊重し、真摯な態度
一つ一つの言葉のもつ意味を理解

○対象者の話に耳を傾ける
聞く 聴く 訊く

○対象者を理解するために
見る 観る 診る 視る



医療職としての知識

各種情報
客観的なデータ

アセ
ス
メ
ン
ト
↓
その人
を知る



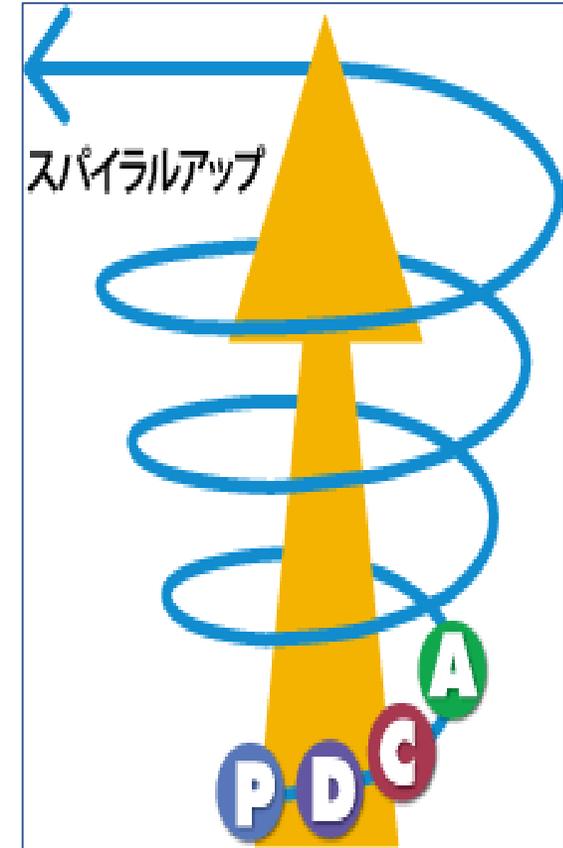
個別の支援をしていくうえで

個別支援のP D C A

「個」を大切に、個人特性
保健師の技（わざ）
指示ではなく支持
主体は誰なのか



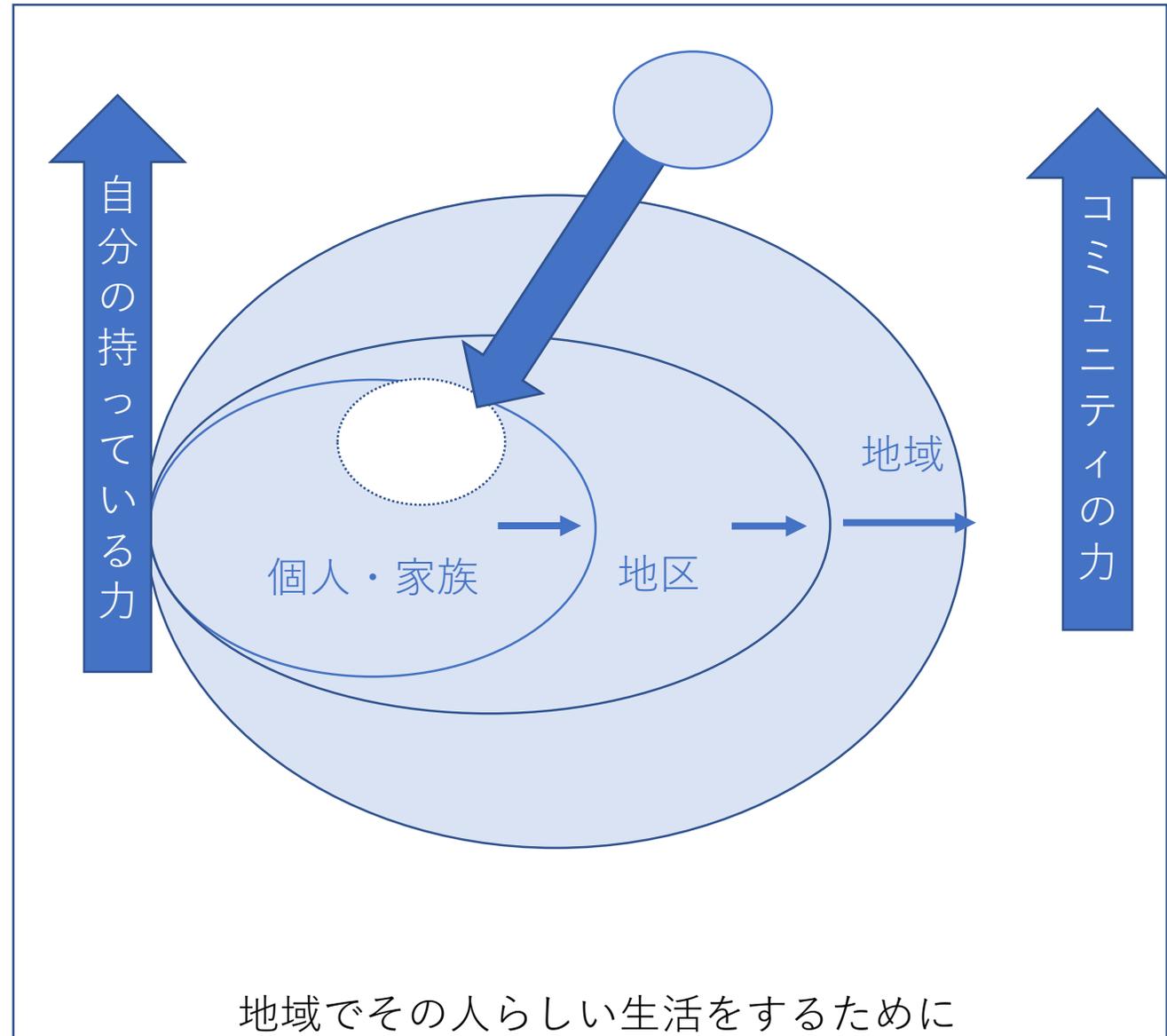
主体は住民 保健師は伴走者



次世代への期待

- ・ 保健師の仕事
想像（予測） → 創造
- ・ 地域に責任を持つ活動
- ・ 保健師はジェネラリスト

想像：足りないあるいは将来足りなくなる？
創造：問題点を明らかにし、望む生き方の実現のために





都会から田舎へ浸潤する結核の撲滅に乗り出した。まず保健館のカードに書き込まれた結核の農家へは保健館から訪問婦が廻り、痰の消毒方法、栄養の改善、通風、採光等の指導をする。患者自身が話せない場合は家族にいろいろ注意をし周囲への感染を防ぐ。



御清聴ありがとうございました。



<参考文献>

地域における保健師の保健活動に関する検討会報告書 平成24年度地域保健総合推進事業

保健師ジャーナル 2014.11 「地域包括ケアと保健師の使命」猪飼 周平

保健師のベストプラクティスの明確化とその推進方策に関する検討会報告書 平成19年度地域保健総合推進事業

労働の科学 2016年 71巻11号 「The Hokenshi：公衆衛生を担う保健師」 平野 かよ子

地区活動のあり方とその推進体制に関する検討会報告書 平成20年度地域保健総合推進事業

「二十年の歩み」 昭和32年 埼玉県所沢保健所